

硬組織形態学分野

【著書】

- 1) 大島勇人：遺伝子変異とエナメル質形成不全症. エナメル質, その形成, 構造, 組成と進化, 再生 (脇田稔, 山下靖雄, 小澤幸重編), 225-235 頁, 蓼科印刷株式会社, 東京, 2009.
- 2) 大島勇人・浜島幸司：「ダブルホーム制による, いきいき学生支援」平成 20 年度活動報告書. 新潟大学全学教育機構学生支援部門, 1-283 頁, 株式会社タカヨシ, 新潟, 2009.
- 3) 大島勇人・浜島幸司：学生支援部門年度報告. 新潟大学全学教育機構年報「自律と創生」第 3 号, 85-149 頁, 新潟大学全学教育機構, 新潟, 2010.

【論文】

- 1) Nakatomi M: Ellis-van Creveld (EvC) syndrome: unusual oral defects in humans and Evc mutant mice. *J Oral Biosci* 51(3): 151-157, 2009.
- 2) Unno H, Suzuki H, Nakakura-Ohshima K, Jung HS, Ohshima H: Pulpal regeneration following allogenic tooth transplantation into mouse maxilla. *Anat Rec (Hoboken)* 292(4): 570-579, 2009.
- 3) Cai J, Cho SW, Ishiyama M, Mikami M, Hosoya A, Kozawa Y, Ohshima H, Jung HS: Chick tooth induction revisited. *J Exp Zool B Mol Dev Evol* 312B(5): 465-472, 2009.
- 4) Cho KW, Cai J, HY, Hosoya A, Ohshima H, Choi KY, Jung HS: ERK activation is involved in tooth development via FGF10 signaling. *J Exp Zool B Mol Dev Evol* 312(8): 901-911, 2009.
- 5) Swelam WM, Cheng J, Ida-Yonemochi H, Maruyama S, Saku T: Oral solitary fibrous tumor: a cytogenetic analysis of tumor cells in culture with literature review. *Cancer Genet Cytogenet* 194(2): 75-81, 2009.
- 6) Tilakaratne WM, Kobayashi T, Ida-Yonemochi H, Swelam W, Yamazaki M, Mikami T, Alvarado CG, Shahidul AM, Maruyama S, Cheng J, Saku T: Matrix metalloproteinase 7 and perlecan in oral epithelial dysplasia and carcinoma in situ: an aid for histopathologic recognition of their cell proliferation centers. *J Oral Pathol Med* 38(4): 348-355, 2009.
- 7) Kobayashi T, Ida-Yonemochi H, Maruyama S, Cheng J, Yagi M, Takagi R, Saku T: Histopathological varieties of oral carcinoma in-situ: its diagnosis aided by the immunohistochemistry for

the concept of the second basal cell layer as the proliferating center of oral mucosal epithelia. *Pathol Int* 60(3): 156-166, 2010.

【商業誌他】

- 1) 大島勇人, 高森泰彦, 鈴木啓展, 大島邦子, Jung HS, Cho SW, Cai J: 今月の表紙: 歯髄分化能の最近の知見. *日本歯科評論* 69 (1) : 47-48, 2009.
- 2) 大島勇人: 最近のトピックス: 歯の損傷後の歯髄修復機構の新規仮説について. *新潟歯学会雑誌* 39(2): 171-176, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 大島勇人, 鈴木啓展, 大島邦子, 本田雅規: 歯髄組織幹細胞の局在と分化能の解明. 平成 21 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)「一般」) (継続), 19390462, 2009.
- 2) 大島勇人, 鈴木啓展, 大島邦子, 重谷佳見: 外傷歯の歯髄再生療法の基盤となる歯髄細胞の分化誘導法の確立. 平成 21 年度科学研究費補助金 (萌芽研究) (継続), 20659296, 2009.
- 3) 大島勇人, 依田浩子, 中川英蔵, 監物新一, 大島邦子: 歯髄分化能の解明: 歯髄組織幹細胞との関連について. 平成 21 年度日本学術振興会二国間交流事業 (韓国との共同研究), 2009.
- 4) 依田浩子, 大島勇人, 朔 敬: 歯胚エナメル器星状網形成におけるパルカンシグナル伝達機構の解明. 平成 21 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)「一般」), 21592321, 2009.
- 5) 興地隆史, 大島勇人ほか: 根尖性歯周疾患の病態機序 - 自然および獲得免疫応答と樹状細胞の成熟化. 平成 21 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)「一般」) (継続), 20390483, 2009.
- 6) 大島邦子, 大島勇人: 歯の他家移植療法の基盤となる歯根膜細胞の分化誘導法の確立, 平成 21 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)「一般」) (継続), 20592394, 2009.
- 7) 監物新一: マイクロ CT を用いた歯髄腔形態のデータベース構築と教材の開発, 平成 21 年度科学研究費補助金 (奨励研究), 21932004, 2009.
- 8) 依田浩子: マウス歯胚発育過程におけるグリコーゲンおよびグルコース輸送体の局在と機能, 平成 21 年度新潟大学プロジェクト推進経費 (若手研究者奨励研究), 2009.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Ohshima H: Responses of dental pulp stem cells against exogenous stimuli. 15th APEC & 7th KAE-

- JEA Joint Meeting, Tokyo, Japan, 2009. 4. 24-26.
- 2) Ohshima H: Putative dental pulp stem cells in growing teeth & their regenerative capacity. 2nd TERMIS World Congress in conjunction with 2009 Seoul Stem Cell Symposium, Seoul, Republic of Korea, 2009. 8. 31-9. 3.
 - 3) 大島勇人：象牙質成長線を生物学的に考える. 第115回日本解剖学会総会研究集会・懇話会, 歯の発生学会「組織形態形成における周期性のメカニズムとその意義」, 盛岡, 2010. 3. 27, 解剖雑誌 85 (Suppl) : 28, 2010.
 - 4) 中富満城：顔面発生における Pax9 と Msx1 の役割. 第115回日本解剖学会総会シンポジウム「顎顔面発生研究の新規展開：若手研究者の発想とねらい」, 盛岡, 2010. 3. 28-30, 解剖雑誌 85 (Suppl) : 96, 2010.
- 【学会発表】**
- 1) 清野雄多, 大島勇人：アルカリ消化・走査電顕法によるモルモット臼歯 apical bud の三次元観察. 第51回歯科基礎医学会学会学術大会・総会, 新潟, 2009. 9. 9-11, J Oral Biosci 51 (Suppl) : 75, 2009.
 - 2) 石川裕子, 依田浩子, 大島邦子, 本田雅規, 大島勇人：マウス臼歯発生過程における歯髓組織幹細胞の局在. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009. 9. 9-11, J Oral Biosci 51 (Suppl) : 75, 2009.
 - 3) 武藤徳子, 中川英蔵, 依田浩子, 石井信之, 大島勇人：マウス顎骨への歯の他家移植後の歯髓・歯周組織再生過程における組織幹細胞の動態について. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009. 9. 9-11, J Oral Biosci 51 (Suppl) : 75, 2009.
 - 4) 斎藤浩太郎, 依田浩子, 石川裕子, 大島勇人：マウス臼歯再植・移植後の歯髓治癒過程における GM-CSF およびオステオポンチンの役割について. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009. 9. 9-11, J Oral Biosci 51 (Suppl) : 90, 2009.
 - 5) 依田浩子, 中川英蔵, 馬場麻人, 織田公光, 寺島達夫, 大島勇人：マウス歯胚発育過程におけるグリコーゲンおよびグルコース輸送体の局在. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009. 9. 9-11, J Oral Biosci 51 (Suppl) : 90, 2009.
 - 6) 中川英蔵, 依田浩子, 吉江弘正, 大島勇人：マウス顎骨への歯胚他家移植後の歯周組織形成過程について. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009. 9. 9-11, J Oral Biosci 51 (Suppl) : 91, 2009.
 - 7) 笹なつき, 重谷佳見, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 監物新一, 大島勇人, 興地隆史：半導体レーザー照射に対するラット臼歯歯髓初期反応. 第51回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟, 2009. 9. 9-11, J Oral Biosci 51 (Suppl) : 100, 2009.
 - 8) 武藤徳子, 石井信之, 大島勇人：胎生期 BrdU ラベリング法を用いたマウス顎骨への歯の他家移植後の歯髓・歯周組織再生過程における label-retaining cells の動態について. 神奈川歯科大学学会第44回総会, 横須賀, 2009. 12. 5, 神奈川歯学 44 (抄録集) : 20, 2009.
 - 9) 大島勇人, 中富満城, 中川英蔵, 石川裕子, 監物新一, 依田浩子：ラット臼歯象牙質形成における歯髓毛細血管と基質形成・石灰化との相関について. 第115回日本解剖学会総会・全国学術集会, 盛岡, 2010. 3. 28-30, 解剖雑誌 85 (Suppl) : 110, 2010.
 - 10) 依田浩子, 中富満城, 中川英蔵, 大島勇人：マウス歯胚発育におけるグルコース輸送体の局在と機能. 第115回日本解剖学会総会・全国学術集会, 盛岡, 2010. 3. 28-30, 解剖雑誌 85 (Suppl) : 175, 2010.
 - 11) 塩生有希, 依田浩子, 大島勇人：ラット切歯歯髓象牙芽細胞層内樹状細胞の防御機能について. 第115回日本解剖学会総会・全国学術集会, 盛岡, 2010. 3. 28-30, 解剖雑誌 85 (Suppl) : 202, 2010.
- 【研究会発表】**
- 1) 大島勇人：歯髓幹細胞と歯の損傷後の歯髓修復機構, 歯胚再生コンソーシアム & 岩手医科大学歯学部オープンリサーチ主催「若手研究セミナー」, 岩手山焼走り国際交流村, 2009. 7. 26-27.
 - 2) Ohshima H: The expression of GM-CSF and osteopontin in immunocompetent cells precedes the odontoblast differentiation following allogenic tooth transplantation in mice. 平成21年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業連絡会議, 東京, 2010. 2. 19-20.
 - 3) Ida-Yonemochi H: Functional significance of glucose transporters during murine tooth development. 平成21年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業連絡会議, 東京, 2010. 2. 19-20.
- 【その他】**
- 1) Ohshima H: has participated in the advanced course "International Dissection Workshop For Implant Surgery". At the Laboratory of Anatomy of Paris Descartes Medicine University, Paris, France, 2009. 11. 12.
 - 2) 大島勇人：第8回産学連携フォーラム（歯科再生医療産学連携会議主催）, 東京, 2009. 12. 15.
 - 3) 大島勇人, 原田英光：(企画) 第115回日本解剖学会総会研究集会・懇話会「組織形態形成における周

- 期性のメカニズムとその意義」(歯胚再生コンソーシアム後援): 1. 小澤幸重『歯の形態形成の周期性』, 2. 大島勇人『象牙質成長線を生物学的に考える』, 3. 高野吉郎『成熟期エナメル芽細胞層に発現する形態変化の進行波』, 4. 原田英光『エナメル横紋形成のメカニズムに関する新規仮説』, 5. 篠田 壽『硬組織形成のサーカディアンリズム』, 盛岡, 2010. 3. 27, 解剖雑誌 85 (Suppl): 96, 2010.
- 4) 大島勇人, 原田英光: (企画) 第115回日本解剖学会総会シンポジウム「顎顔面発生研究の新規展開: 若手研究者の発想とねらい」(歯胚再生コンソーシアム後援): 1. 中富満城『顔面発生における Pax9 と Msx1 の役割』, 2. 大津圭史『MSC と血管内皮細胞との相互作用』, 3. 山座孝義『骨髄間葉系幹細胞によるニッチ構築と生体制御』, 4. 中村卓史『器官形成における Epiplofin の役割』, 盛岡, 2010. 3. 28-30, 解剖雑誌 85 (Suppl): 28, 2010.
- 5) 大島勇人: 電子顕微鏡で解き明かす歯の損傷後の歯髄反応. 日本大学松戸歯学部電顕講習会, 松戸, 2009. 10. 30.
- 6) 大島勇人: 外的刺激に対する歯髄反応の特殊性と歯髄分化能. 日本大学歯学部大学院特別セミナー, 東京, 2009. 11. 6.
- 7) 大島勇人: 窩洞形成と歯髄反応. 岩手医科大学歯学部特別講義, 盛岡, 2010. 1. 12.
- 8) Ohshima H: Face: its diversity and evolution. Special lecture for students in Yonsei University, ソウル, 韓国, 2010. 3. 11.
- 9) 大島勇人: 第9回産学連携フォーラム (歯科再生医療産学連携会議主催), 東京, 2010. 3. 17.
- 98-110 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 5) 芳澤享子, 泉 健次, 飯田明彦, 高木律男, 齊藤 力: 口腔前庭拡張術, 歯槽堤形成術への培養複合口腔粘膜の応用). 一般臨床家, 口腔外科医のための口腔外科ハンドマニュアル '09 (日本口腔外科学会編, 110-117 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2009.
- 6) 前田健康, 山田好秋: 序章 解剖学で学ぶこと・生理学で学ぶこと. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 7) 井上佳世子: I 編 1 章 細胞と組織. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 8) 井上佳世子: 第3章 2. 消化器の構造. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 9) 前田健康: 第5章 1. 神経系の概要. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 10) 前田健康: 第5章 2. 神経系の構成. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 11) 前田健康: 第5章 6. 末梢神経系. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 12) 泉 健次: 第7章 3. 外皮. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 13) 河野芳朗: 第7章 4. 特殊感覚器の構造と機能. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 14) 前田健康: 第10章 内分泌. 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能 (前田健康, 山田小枝子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 15) 前田健康: 第2章 I. 口腔とは. 最新歯科衛生士教本 口腔の構造と機能 (前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 16) 前田健康: 第2章 II. 口腔を構成する骨. 最新歯科衛生士教本 口腔の構造と機能 (前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 17) 前田健康: 第2章 III. 顔面・口腔の筋とその作用. 最新歯科衛生士教本 口腔の構造と機能 (前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 18) 井上佳世子: 第2章 IV. 顎関節. 最新歯科衛生士教本 口腔の構造と機能 (前田健康, 遠藤圭子, 畠中能子編), 医歯薬出版, 東京, 2010 印刷中.
- 19) 前田健康: 第2章 V. 口腔付近に分布する脈管系.

口腔解剖学分野

【著書】

- 1) Smith MH, Izumi K, Feinberg SE: Tissue engineering. Operative Oral and Maxillofacial Surgery 2nd Ed (Eds by John Langdon, Mohan Patel, Robert Ord, Peter Brennan), Hodder Arnold Health Sciences, London, Chapter 12.3, 2009 in press.
- 2) 前田健康, 杉本朋貞: 第8章 神経学総論. 口腔解剖学 (井出吉信, 前田健康, 天野 修編), 42-53 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 3) 前田健康: 第9章 感覚器学総論. 口腔解剖学 (井出吉信, 前田健康, 天野 修編), 54-60 頁, 医歯薬出版, 東京, 2009.
- 4) 杉本朋貞, 前田健康: 第14章 頭頸部の神経系. 口腔解剖学 (井出吉信, 前田健康, 天野 修編),